

内田 智美 (いぬとび)

書家・AIクリエイター

CURRICULUM VITAE

負の感情と共に 生きていく 勇気

創作の根底にある思想

過去の活動実績を掲載
記録対象：2026年10月まで

アーティストステートメント

私は2017年、40歳で書道を始め、墨と筆で描く墨象を紙だけでなく、布、衣装、映像、音楽、空間表現へと広げてきました。

創作の根底にあるのは「負の感情と共に生きていく勇氣」です。

2026年には、自分の墨象作品を人がまってみせる展示会「墨象百鬼夜行」を企画・主催し、多くの人と一つの芸術作品を創り上げる楽しさを知りました。

墨象と書は自らの手で制作しています。今後は、異分野のクリエイターとの交流を通して、自分一人では生まれない表現を探り、これまでにない総合芸術の展示会・個展に挑戦したいと考えています。

手描きの墨象とAI映像・音楽について

手描きの墨象と書は、本人が制作しています。

AIを用いた短編映像と音楽は、映像・音楽ともに本人が制作し、手描きの墨象作品とは区別して紹介しています。

主な活動・出版

記録対象：2026年10月までの過去活動実績

2026年10月14日～17日

「墨象百華」／hanamore はなもあ × いぬとび
門司港レトロ フラワーエキシビション（グループ展）
大連友好記念館（福岡県北九州市門司区）
花と墨象作品・衣装を組み合わせた共同展示。

2026年9月

短編映画『手紙』への美術作品提供。

2026年8月

「墨象百鬼夜行」を企画・主催。集客・運営も本人が一人で担当。
自身の墨象作品を人がまとい、ファッションショーのように見せる展示会。
音楽・身体表現も取り入れた。梅ヶ谷酒造（福岡県嘉麻市）。
嘉麻市後援。

2026年1月～10月

ワークショップ「フレーム書道」を企画・主催・集客・運営。
2026年10月時点で計10回実施。

2025年12月

書道瞑想教室を開催。

2025年12月

メキシコの日本語学校でオンライン書道イベント。

2025年8月30日

対面ペン字教室を開催（福岡県飯塚市）。

2025年3月

オンラインペン字教室を開催。

2025年7月 Kindleで著書を発表

『書道瞑想 Sho-mèi:

ACTから生まれた、新しい書の瞑想習慣。』

著者：いぬとび

書道瞑想の実践、書道・墨象アートの指導。

連絡先・外部リンクは公開版から省略しています。